

# 華頂短期大学で幼児教育・保育を学ぶ 3つのポイント

## その3 キャンパス内にある附属幼稚園で保育現場を体験

### 現場を知る！華頂の実習指導

華頂短期大学 幼児教育学科では、1回生の2月から実習がはじまります。

子どもたちと実際に関わる際に、気をつけること・知っておくべきこと…事前に勉強しておく必要がありますよね。

「子どもたちと関わることは好きだけど、緊張する！」という不安もあると思います。華頂では、キャンパス内にある附属幼稚園と連携し、「遊びや自然体験」、「子どもたちとの関わり方」を実践的に学んで実習に臨みます。

今回は、「現場体験研修」を指導されている先生にお話を伺いました！

華頂短期大学 幼児教育学科

下温湯 まゆみ 講師

Q. 幼稚園や保育所・施設での「実習」が不安です・・・。

A. キャンパス内にある「華頂短期大学附属幼稚園」で全員が現場を体験してから実習に臨みます！

いきなり実習に臨むのは不安もあると思います。安心して実習に臨めるために現場を知っておくことも必要ですね。本学では、キャンパス内にある「華頂短期大学附属幼稚園」で全員が教育・保育現場を体験してから実習に臨みます。この「現場体験研修」は、1回生の5月から順番にグループごとで幼稚園の保育活動に参加します。例えば、「鮎のつかみ取り」や「よもぎを摘んで餅つきして食べよう!」、「ペットボトルでいかだ作り」等…先生たちが工夫を凝らして考えた楽しい企画がたくさんあります。学生たちは、この研修を通して子どもたちとふれ合うことを楽しみにします。

Q. 「現場体験研修」では、どのようなことを行うのですか？

A. 1日の「先生の仕事」を体験します

「ペットボトルでいかだ作り」では、本学の近くに流れている「白川」で実際にいかだを浮かべて遊びます！楽しそうですね！「現場体験研修」では、子どもたちと一緒に「遊びの楽しさ」を知ることはもちろん、幼稚園の先生方と一緒に準備をしたり、片付けをしたり…子どもたちと関わること以外の仕事についても経験します。先生のお手伝いをしていく中で、「先生の見えないところでの仕事」がわかる機会にもなります。1日の先生の仕事を経験する貴重なこの研修は、現場のイメージを持つことができ、後の実習の参考になります。

Q. 「実習」、やっぱり不安です・・・。

A. 実習の事前・事後指導も授業で行っています！

現場体験研修での経験を踏まえて、1回生の11月頃に授業で附属幼稚園の見学に参加します。先生の立場で「子どものためにどのように関わったら良いか」や「どのように教えていったら良いか」という視点で、子どもの気持ちを理解したり、発達の様子を見たり…「子ども」や「保育」を客観的に見る目を培います。子どもたちにとっては実習生も先生です。授業の中で、「先生としての心構えや責任感」を養い、実習簿の書き方や園で行う遊びや教材研究について等、指導を受けて身につけていきます。

Pick UP!

「すぐそばに子どもたちがいる」キャンパスだからできる！  
現場のイメージを持って実習に臨むことができる環境です

キャンパス内に幼稚園がある華頂では、園児たちの様子や雰囲気を感じながら、日々の学生生活を過ごすことができます。現場体験研修や授業での園見学以外にも、ボランティア活動に参加している学生も多くいます。このように、附属幼稚園と連携したプログラムを活用しながら、学生たちは現場のイメージを持って実習に臨んでいます。

